



編集発行

公益社団法人
 四街道市シルバー人材センター
 普及啓発委員会 広報編集グループ
 四街道市和良比181-37
 電話 043-497-5080
<http://www.sjc.ne.jp/yotsukaidou/>

自主・自立・共働・共助の理念と安全就業

謹賀新年



©Natsuno Togashi, 2014



ルボン山（大土手山）から見た日の出

撮影：会員番号1296 鈴木 貞二（中央小地区）

会長あいさつ

公益社団法人四街道市シルバー人材センター
 会長 齊藤 勝璋



新年
 おめでとうございます。

皆様には、健やかに平成29年の初春を迎えたこととお喜び申し上げます。年のはじめは、生活感情を一新して、更に今後の生活へ邁進する覚悟を新たにすることにふさわしいように感じます。

さて、シルバー人材センター事業を取り巻く環境は、その変化の速度が速くなってきているようです。75歳以上が14歳以下を上回り、少子高齢化が刻々と進んでいることから、多くが2025年問題に集約されるのでしょうか、今後、このことをしっかり意識しなければならないでしょうし、事業の取組み方も、一工夫も二工夫必要となってくると考えられます。

当センターに課せられている諸問題のうち、今年取り組まなければならないことがいくつかあります。

まず、会員の増強です。この4月にスタートする市の介護予防・日常生活支援の新総合事業への参画に備えて、昨年編成し直した『生活サポート班』の、とりわけ主役となる女性会員の増強や、昨年『高齢法』の改正による会員の働き方の要件緩和により、派遣事業への進出が大幅に増加することが見込まれますので、できれば、技術や資格を持ち、経験豊富な会員の増強が必要となってきます。更に、草取り、植木剪定作業等にみられる、需給バランスの是正、そして将来を見据えた事務局組織の強化が喫緊の課題といえます。

シルバー人材センターの目的は、設立当初から高齢者への就業機会の提供と地域貢献ですが、近年、地域貢献の具体策として、現役世代の下支えの推進が加わってきております。育児・介護など、また、サービス業などの人手不足の解消を図ることでありますが、それだけシルバー人材センターの果たす役割は重要性を帯び、加えて、重責を背負うことになると考えられます。

寒さが日増しに厳しくなります。どうか体調には万全の注意を払い、就業に励んでいただくようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

四街道市長の新年のご挨拶

四街道市長 佐渡 斉

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年を健やかに
お迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より市政に対して多大なるご支援と
ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

急速に進む少子高齢化により、就業人口は年々
減少しているところですが、貴センターにおかれ
ましては、積極的に事業を請け負い、更には新規
の事業を手がけ、会員の皆様に広く就業機会を
提供され、地域社会の活力や高齢者の生きがい
づくりに貢献されていることに、心より敬意を
表します。

昨年、貴センターは、創立30周年を迎えられ、
地域にとってなくてはならない存在として、益々
の発展が期待されているところです。

本年も皆様のご健勝で、より一層ご活躍される
ことをご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていた
だきます。



創立30周年記念行事

去る、平成28年10月15日土曜日、四街道
市文化センター大ホールにおいて、公益社団法人
四街道市シルバー人材センター創立30周年
記念行事が開催されました。

午前10時から記念式典が挙行され、会長挨拶
の後、四街道市長をはじめ、四街道市議会議長、
千葉県シルバー人材センター連合会会長、
四街道市社会福祉協議会会長からご祝辞を
頂きました。また、市内企業3社、個人4
名に感謝状を贈呈、会員36名が功労表彰
を受賞されました。

式典後には、四街道少年少女合唱団に
よる特別公演が催されました。

(<http://yotsukaidoujc.jimbo.com/>)

午後12時30分からは、第2部として
会員親睦会の協力により、地域交流演芸大
会が開催され、96組のみなさんが出演。
カラオケ、舞踊、詩吟、フラダンス、楽器
演奏など、バラエティに富んだ演目を披露
いただき、盛り上がりました。

大ホール前のホワイエでは、展示による普及
啓発を行い、四街道少年少女合唱団の皆さん
からの『贈り物』をはじめ、当センターの活動
状況を紹介いたしました。『贈り物』は、現在
事務局に展示しておりますので、是非ご覧に
なって下さい。

当日入場者数 939人
(内会員 220人)



特別公演 四街道少年少女合唱団

年男・年女の 今年の抱負

一千支は長くもあり

短くもあり

会員番号 2375 伊藤 靖士

昭和20年生まれ

(旭小地区)



山形県酒田市に誕生し
色々な所を回ってきた。

2回目の干支を迎え
海外へ転勤。初めて“キ
ャピア”を食す。

3～4回目の干支か
ら、東北、東京、九州、滋賀、中国と時代の流れ
に翻弄されながら孤軍奮闘。比叡山で延暦寺根本
中堂での二胡のコンサートを聞きながら、漸く嵐
を抜け、幼い頃の故郷に帰って来た感じを受ける。

4～5回目の干支で再び海外へ。ベトナムで
木彫りの千手観音を頂く。同時に家内と二人で
海外、西日本中心の長旅を。

最近嬉しかった事があった。被爆した私の恩人
達が眠る広島にオバマ大統領が来た。漸く・・・
法相の世界で言う阿頼耶識の中にある“種子”を
見つけ、“薫習”し、目で見て、耳で聞き、肌で
感じ本当の姿の人間はと思いはせながら、我々は
深く現象の中に自己の中に沈潜して行く第一歩
が始まる・・・と言う。

この事を子供達に伝えながら。親睦会のゴルフ
同好会の諸兄達の元気な活躍を見ながら、共に
頑張っていきたいものと。

会 員 数

男 性 429名

女 性 150名

合 計 579名



©Makoto Togashi, 2014

平成28年11月末日現在

今年の抱負

会員番号 2502 石瀧 登志子

昭和20年生まれ

(四和小・和良比小地区)



落葉が風に舞うこの頃。
私、日々忙しく動いて
います。

シルバー人材センター
に入会してから約一年が
たとうとしている頃、四月からシルバー人材
センターの方から仕事を頂き、本当に助かって
います。私は国民年金なので、この年金だけでは
生活出来ず、どうしようか本当に困っていました。
そこでシルバー人材センターがある事を市役所
の方に教えて頂き、すぐに入会したのです。

私事になりますが、長崎県佐世保市で35年
ほど自営業をしていて、娘が東京に出てお店を
していたので、私も佐世保のお店をしめて、娘と
二人で世田谷区下北沢の方で頑張っていたの
ですが、一年もたたない内に娘が癌になり、余命
一年といわれ、この一年をどうして過ごしたのか、
あまりのショックで、ところどころ記憶が途切れ
ているのです。それは今も変わりません。そして、
長男である息子をたよって千葉にやって来たの
です。本当に“思えば遠くへ来たもんだ”じゃ
ありませんが、長崎ー東京ー千葉。一人で三人
の子供を大きくして、やっと楽になるという時
に・・・。

でも今は毎日、孫守、仕事と忙しく動き、時間
を刻んでいっています。

さて、最後になりますが、いろんな事が有り、
今の私の抱負は、シルバー人材センターから
与えて頂いた仕事と健康に気をつけながら
やって行けたらいいと思います。欲を言うと、
この先どの位時間があるのかわかりませんが、
もう少し仕事があって、やっていけたらいい
なあと思うのです。

皆様、どうかご自愛下さいませ。

新入会員の声

いきいきライフを求めて

会員番号 2539 来住 恵子
平成28年4月21日入会
(四和小・和良比小地区)

もの心ついた頃から、勉強・友達との約束・就職・結婚・子育てと「今年はこれをやらなければならない」という使命感の連続でした。昨年最後の親孝行であった8年間に亘る親との生活を終え、大仕事をやり遂げたと言う充実感に満足しました。

しかしそれもつかの間、何やら目標がなくなり

空虚な日々を過ごしていたところシルバー人材センターを知りました。

少し視点を変えて、この年齢だからこそやれる事はまだまだあると思いシルバー人材センターに登録しました。

10月に、郷土作家展展示品の保護・会場の巡回の仕事をしていただきました。会員として初めての仕事は不安もありましたが、一歩踏み出し、新しい仲間との出会いと絆を手に入れ楽しく仕事が出来ました。

小さな歯車でも、必要とされていると言う事は生きがいが出来、心も身体も充実し健康寿命が延びそうです。

シルバー人材センターの仕事を体験し新しい知識を得る事が出来ました。

何よりも一番の魅力は、仕事をしている時の緊張感が脳活にもつながると思いました。

我が家のペットを紹介しまあす♡



会員番号 1848 田原 巖
(中央小地区)

娘からの置き土産

8月から、娘が仕事の関係でペット2匹を置いてアパート住まいとなったため

私達夫婦で面倒を見ることとなった。

2匹のペットは、

『お餅ちゃん』(デグー:アンデスのネズミ)

と『お米ちゃん』(ハムスター)

という名前である。

家内は、ネズミは木の苦手な、

最初は怖いと言っていたが、

最近は甘ったれる『お餅ちゃん』を抱いて、「可愛い、可愛い」といって可愛がっている。

娘へは、LINEで“お餅ちゃんは元気だよ”等の

コメントを加えて写真を送り、

娘とのコミュニケーションに役立っている。

§ 編集後記 §

昨年の30周年記念行事には、多くの地域の皆様にご参加いただき、シルバー人材センターが地域に溶け込み、期待されていることを実感しました。しかし残念ながら、草取り、剪定等の職種に於いては、お客様の期待に沿えない事例が

増えています。会員の皆様、チャレンジして下さい！！

今年は酉年。酉は運気を‘とり’込み、商売繁盛につながるとのこと。会員の皆様のご多幸とセンターの発展を祈念し、編集委員会からの新年のご挨拶といたします。